



# しもながや

令和3年9月1日 発行

横浜市立下永谷小学校

## 努力は裏切らない

校長 鈴木 陽一

「努力は裏切りませんでした。これまでの努力のおかげでよい結果が残せました。」

というような言葉を、スポーツなどでよい結果を残した人たちが言われているのをよく聞きます。ところが、この夏、「努力は裏切ることもあることを知りました。」という言葉を知りました。体操の内村航平選手が、オリンピックが、終わってからしばらくしてテレビで語っていた話の一部です。内村選手は、優勝又は同等の結果を残すと誰もが信じていましたが、予選で鉄棒から落下をしてしまいました。テレビなどで見ていた誰もが、非常な驚きをもって見つめていたと思います。その後、内村選手は、ずいぶんと落ち込んだそうです。しかし、落ち込んでばかりいるのではなく、「努力は裏切ることを心におきつつ、努力は裏切らないことを証明するためにもさらに努力をする。」と次の目標に向けて練習を再開したそうです。なんと前向きな考え方なのでしょう。失敗を引きずるのでなく前向きな姿勢で常にいるからこそ偉大な結果をこれまでも残してきたのだらうと改めて感じました。

この話を聞き、努力は裏切らないとは何だろうと考えました。目標や夢に向けて努力してもすべて最高の結果につながるとは限りません。むしろそうならない場合のほうが多いのではないのでしょうか。結果だけにこだわるのではなく、努力をすること、夢や目標をもつことが、人生の糧になるとともに、人生を豊かにするものであることが、「努力は裏切らない」の意味(価値)なのではないかと考えました。教職員と共に子ども達が、夢や希望をもちそれを追い求めていこうとする姿勢や思いをもてるよう努めていきたいと改めて思いました。

さて、現在、子どもたちを取り巻く環境は、感染症の爆発的な広がりを受け、多くの制限がかかっています。夏休み明けの休校、分散登校での授業の再開、引き続きのマスクの着用や手洗い等の励行、様々な制限の中での教育活動、多くの我慢を子どもたちにしていることはとても心苦しく感じています。しかし、それらの我慢や努力は、自分自身の命を守るとともに、周りの人への思いやりの表れであると常に伝えていきます。開けない夜はないとも言います。近い将来、感染症が収束することを信じて子どもたちとともにもう一踏ん張りしてまいります。保護者・地域のみなさまには、今後ともご理解ご協力のほどよろしく願いいたします。